

令和元年度（2019年度）学校法人玉名白梅学園 決算監査報告書

- 1) 日時 令和2年5月11日（月）午前10時から
- 2) 場所 玉名女子高等学校 白梅寮（南館）1階食堂
- 3) 監査対象 令和元年度（2019年度）決算に係る事項
- 4) 監査期間 平成31年4月～令和2年年3月
- 5) 監査内容 貸借対照表、収支計算書（資金収支計算書、事業活動収支計算書）、備品台帳、総勘定元帳、理事会議事録、会計伝票、授業料徴収台帳・日計表、給与台帳、玉名白梅学園諸規定
- 6) 監査方法 学園側より、森塚理事長、櫻井副理事長、羽山事務長、会計担当者から概要説明を受け、監事から聞き取り、決算書類の監査を行った。
- 7) 監査結果 帳票・関係書類及び証票類など、正確、明瞭に記録されており、また現金、預金管理についても正確であることが認められた。
- 8) 所感 令和元年度は大きなものとして、昨年度から継続されていた校舎の空調設備工事として、南校舎及び、北校舎の空調設備が完了し、快適な教育環境が整いました。また、中庭及び第二呉竹館の改修工事や電気設備工事、白梅ホール2階防音設備工事などを済ませ、着々と環境整備がなされています。

令和2年度の新規入学生は、昨年の179名から177名と学園で最低目標とされている180名に少し届かなかったものの、ほぼ予定に近い数字でした。活発なオープンスクールの開催やスクールバス新規運行地区の設定など少しずつ身を結んでいると思います。

校内においては、鈴木田校長の発案で、学校評価アンケートを全校生徒にはかり、学園の強み、弱点を分析して今後の学校運営に活かす試みもなされました。

さて、令和元年度は、期末において「新型コロナウイルス」の影響で、人類にとって予期せぬ事態となりました。新学期もまだ目途が立たず、入学式も開催されておりません。何もかも未経験の中で不透明感ばかりですが、全員でこの難局を克服しなくてはならないと思います。理事長、校長をはじめ教職員の皆様とともに、当学園が益々輝くように努めていただきたいと思います。

令和2年5月11日

学校法人玉名白梅学園 監事 村上 弘
監事 那須 信明